

学位被授与者氏名	常数 晃大 (つねかず こうだい)
論文題目	『プロメテウスの解縛』における科学的認識 ヴェールを取られた「目」の革命
論文審査結果の要旨	<p>常数氏は、Shelley が当時の最新の科学、最新の歴史認識、最先端の地理的な知識を駆使し、過去、現在、未来の地球、人間の姿を詩の中に投影し、宇宙的なヴィジョンで人間存在を問おうとしていると主張する。自然に対する人間の驚きの感覚が麻痺しているために、奇跡としての自然の姿が見えなくなっていることが、人間の感性と知性の最大の問題であり、Shelley は詩的想像力による目の革命を促し、人間の想像力を回復させ、これにより最終的には社会全体の刷新を目指したものであるとしている。常数氏の論文は、作品そのものについてのテキスト分析にかなり不十分なところが見られるものの、Shelley が詩の中で用いているダーウィン以前の生命進化について分析は優れており、全体の主張も新奇性に富んでいる。</p> <p>平成 26 年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 B-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(比較文化)として十分な内容であると判定した。</p>